

彦根市立幼稚園・保育所施設整備計画

(概要版)



平成 28 年 3 月

彦根市

第1章 計画の策定に当たって

1 計画策定の趣旨

- (1) 公立幼稚園・保育所施設の老朽化への対応
- (2) 幼稚園ニーズの減少に伴う施設の有効活用
- (3) 保育所ニーズの増加に伴う待機児童の解消

2 計画の位置付けと期間

- (1) 「彦根市総合計画」、「彦根市子ども・若者プラン」、「彦根市公共施設等総合管理計画」との整合
- (2) 平成28年度から平成37年度までの10年間計画(5年後に中間見直し)

第2章 公立幼稚園・保育所の施設の現状と課題

1 公立幼稚園・保育所の施設の現状

- (1) 施設の現状(平成27年4月1日現在)
 - 公立幼稚園・・・10園中7園が築後30年を経過
 - 公立保育所・・・3園中1園が築後30年を経過
- (2) 施設の老朽度合い (平成28年1月に現地調査)

施設名	老朽度合い	部位ごとの老朽状況(躯体に関わるもの)
彦根幼稚園	A	外壁の経年劣化
彦根幼稚園池州分園	D	屋根材・外壁の経年劣化
高宮幼稚園	B	屋根材・外壁の経年劣化
稲枝東幼稚園	B	外壁の経年劣化
旭森幼稚園	B	屋根材・外壁の経年劣化、勾配不足
城北幼稚園	D	屋根材の経年劣化、外壁大梁露出
金城幼稚園	C	屋根材の経年劣化、鉄骨柱脚の露出
佐和山幼稚園	A	外壁の経年劣化
城陽幼稚園	A	外壁の経年劣化
西保育園	A	外壁の経年劣化
東保育園	B	屋根材の経年劣化

【老朽度合い】

※ 老朽度合いが低いものから順にAからDとしている。

- A 小規模改修により長寿命化が可能 B 大規模改修により長寿命化が可能
C 更新が必要 D 優先して更新が必要

※ 平田幼稚園は、平成 28 年 7 月から建替えの予定をしているため現地調査を行っていない。

※ ふたば保育園は、築 12 年と比較的新しい施設であるため現地調査を行っていない。

2 公立幼稚園・保育所の施設の今後の課題

(1) 今後 10 年間の整備に要する費用の課題

改修に要する費用(8 園)・・・ 65,914,000 円

更新に要する費用(3 園)・・・ 452,591,000 円

(既存の施設形態のまま整備を行った場合の工事費)

(2) 施設の立地状況から見た課題

保育活動に伴う騒音

車による送迎に伴う混雑

第 3 章 人口の動向と将来推計

1 人口の推移および出生の動向

(1) 人口の推移

平成 22 年までの国勢調査では増加傾向となっているが、少子・高齢化が進行

平成 22 年 10 月 1 日現在で 110,399 人

(2) 出生の動向

平成 22 年以降、ほぼ横ばいで推移

平成 26 年は 1,031 人

2 就学前児童数の推移と将来推計

(1) 就学前児童数の推移

平成 23 年以降、減少傾向

平成 27 年は 6,355 人

(2) 就学前児童数の将来推計

平成 31 年の市全体の就学前児童数は 6,042 人と推計

平成 27 年と比較すると約 300 人減少

第4章 幼稚園・保育所の児童数の現状と将来推計

1 幼稚園および保育所の園児数の現状

(1) 幼稚園

平成24年度をピークに減少傾向

平成27年度は1,337人

(2) 保育所

園児数は増加傾向

平成27年度は2,561人

待機児童が発生

平成27年10月1日の待機児童数は141人

2 教育・保育ニーズ量の将来推計

【平成31年度 中学校区別の教育・保育ニーズ量の見込み】

(単位：人)

中学校区	1号認定	2号認定	3号認定	合計
鳥居本	9	17	9	35
西	111	207	91	409
東	296	548	259	1,103
中央	140	259	124	523
南	193	357	170	720
彦根	221	410	213	844
稲枝	85	157	71	313
合計	1,055	1,955	937	3,947
平成27年4月1日 現在の定員	1,885	1,652	763	4,300

※ 1号認定：教育標準時間認定・満3歳以上 → 認定こども園、幼稚園

2号認定：保育認定(標準時間・短時間)・満3歳以上 → 認定こども園、保育所

3号認定：保育認定(標準時間・短時間)・満3歳未満 → 認定こども園、保育所、地域型保育

第5章 公立幼稚園・保育所の施設整備計画

1 基本的な考え方

- (1) 老朽度合い、今後の人口推移、教育・保育の需要と供給のバランスを考慮した上で、施設の長寿命化、更新および統廃合等を行う。
- (2) 「彦根市公共施設等総合管理計画」との整合を図る。
- (3) 前提条件として、民間事業者による新たな保育所や認定こども園等の整備が行われないこと、施設整備用地の確保、保育人材の確保、多額の財源の確保が必要となる。

2 施設整備の形態

- (1) 既存の施設形態のまま園舎の整備を行う。
- (2) 既存の幼稚園と保育所を統合して、幼保連携型認定こども園に移行する。
- (3) 既存の幼稚園に保育所機能を加えて、幼保連携型認定こども園に移行する。
- (4) 既存の幼稚園に補完的に保育所機能を加えて、幼稚園型認定こども園に移行する。

3 施設整備の進め方

立地状況や整備用地確保の可能性を含めて老朽度合いが高い施設を優先し、次に、施設の立地状況による課題や教育・保育ニーズ量の将来推計を考慮し、優先度を決定。

4 地区別（中学校区単位）の状況と具体的方向性

中学校区単位で次の(1)から(4)を考慮し公立幼稚園・保育所の今後の方向性を検討

- (1) 人口、世帯数、就学前施設の状況
- (2) 平成31年度までの就学前児童数の推計
- (3) 各就学前施設の定員と園児数の推移(平成23年度から平成27年度まで)
- (4) 平成31年度の需要と供給のバランスの見込み

5 施設ごとの年次整備計画

「4 地区別(中学校単位)の状況と具体的方向性」を踏まえ、次の年次計画とする。

施設名	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度 以降
彦根幼稚園										整備を再検討
彦根幼稚園池州分園	----->									
高宮幼稚園										整備を再検討
平田幼稚園	③ →									
稲枝東幼稚園										整備を再検討
旭森幼稚園				③ →						
城北幼稚園								② →		
金城幼稚園		③ →								
佐和山幼稚園										整備を再検討
城陽幼稚園										整備を再検討
西保育園								② →		
東保育園										整備を再検討
ふたば保育園										整備を再検討

※ 彦根幼稚園池州分園は、管理運営方法を見直し、質・総量・コストの最適化を図る。

※ 長寿命化を図る必要がある施設のうち、高宮、稲枝東幼稚園、東保育園は老朽度合い（P1）から優先的に大規模改修を行う。

※ 矢印の範囲は、施設整備用地の検討や設計、建設工事、開園までの期間。

（施設整備の形態）

- ① 既存の施設形態のまま園舎の整備を行う。
- ② 既存の幼稚園と保育所を統合して、幼保連携型認定こども園に移行する。
- ③ 既存の幼稚園に保育所機能を加えて、幼保連携型認定こども園に移行する。
- ④ 既存の幼稚園に補完的に保育所機能を加えて、幼稚園型認定こども園に移行する。

6 計画の推進

- (1) 前提条件が大きく変われば、計画を適宜見直す。
- (2) 社会経済情勢の変化や民間事業者による保育所等の整備が行われた場合は、必要に応じて計画を見直す。
- (3) 幼稚園の定員を見直す。

彦根市立幼稚園・保育所施設整備計画（概要版）

発行・編集：彦根市・彦根市福祉保健部幼児課

住 所：〒522-0041 滋賀県彦根市平田町 670 番地

T E L：0749-23-9597 F A X：0749-26-1768